

設立当初の事業年度の事業計画書
法人設立の日から 2027 年 6 月 30 日まで

NPO 法人親子に寄り添う連携支援プロジェクト

1 事業実施の方針

病気や障がいを持つ子どもの保護者が最初に直面する、保育園・保育園・学校での課題を少しでも解決できるように、情報共有ツールの開発及び普及事業に力を入れて活動する。

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
(1) 病気や障がいを持つ子どもに関する情報共有ツールの開発及び普及事業	病気や障がいを持つ子どもが、保育園・保育園・学校で必要な支援を受けられるように、また子どもの症状を分かりやすく先生に伝えられるように、先生と保護者の情報共有ツールとして、病気や障がいの内容や必要とする支援を書ける定型書式やチェックリストを作成して普及させる。	随時	当法人の事務所、インターネット上	2 人	病気や障がいを持つ子ども 数万人
(2) 病気や障がいを持つ子どもに関する相談窓口、交流会の運営事業	病気や障がいを持つ子どもの家族からの相談を対面・オンラインで受け付け、アドバイスする。	随時	当法人の事務所、インターネット上	2 人	病気や障がいを持つ子どもの家族 100 人
	病気や障がいを持つ子どもの保護者の集いとして交流会を運営する。	月 1 回	高洲ぽっかぽか (浦安市社会福祉協議会内)	2 人	病気や障がいを持つ子どもの保護者 100 人
(3) 病気や障がいを持つ子どもに関する研修会、講座、オンラインセミナーの開催事業	病気や障がいを持つ子どもに関する研修会、講座、オンラインセミナーを開催する。	年 4 回	浦安市内の公共施設、大学、インターネット上	3 人	医療従事者、教育関係者、福祉関係者、病気や障がいを持つ子どもの保護者 200 人

(4) 病気や障がいを持つ子どもに関する支援ガイドブック、動画教材、研修プログラムの制作及び普及事業	医療・教育現場や家庭で活用できる、病気や障がいを持つ子どもに関する支援ガイドブック、動画教材、研修プログラムを制作して普及させる。	年 1～2回	当法人の事務所、インターネット上	2人	医療従事者、教育関係者、福祉関係者、病気や障がいを持つ子どもの保護者 数万人
(5) 病気や障がいを持つ子どもに関する調査、研究、政策提言等の権利擁護事業	相談窓口、交流会の運営を通して得た当事者の声を整理、分析して報告書にまとめ、行政機関や学会等の会合に参加して提出し、支援体制の整備や制度の改善につながる政策提言や要望活動を行う。	年 1～2回	当法人の事務所、行政機関や学会等の会合	2人	病気や障がいを持つ子ども 数万人